

東高リベラルアーツ通信

No. 2

2025年10月29日発行



探究を進めるにあたり、生徒の皆さん・先生方から多くの質問をいただきました。

通信第2号は、その質問に答える形で発刊します。

これからも疑問点があれば、どんどん聞きましょう。

福島東高校は、生徒・先生が互いに学び合うために対話が互いに学び合う

『Interactive High School/対話型高校』ですから。



よくある質問

Q1：結局、何すればいいの？

**A1：自分のテーマ（疑問）に対して、調べ学習ではなく
活動（フィールドワーク、実験、アンケートなど）を通して
仮説を検証します。**

11月末までには、検証活動の計画ができているといいですね。

**Q2：探究のテーマは、①興味・関心から選ぶの？②進路から選ぶの？
③ゼミの先生のテーマから選ぶの？④研修旅行にリンクさせるの？**

**A2：①～④のどれでも良いです。東高リベラルアーツは、分野にとらわれ
ず、幅広い教養を横断的に学ぶことで、複雑な現代社会を生き抜く
ための総合的な人間力を養うものです。**

Q3：どんなテーマがいいの？

A3：テーマが大きすぎる抽象的なものはダメです。

「AIについて」「地球温暖化について」「健康について」

では何を探究したいのか分かりません。

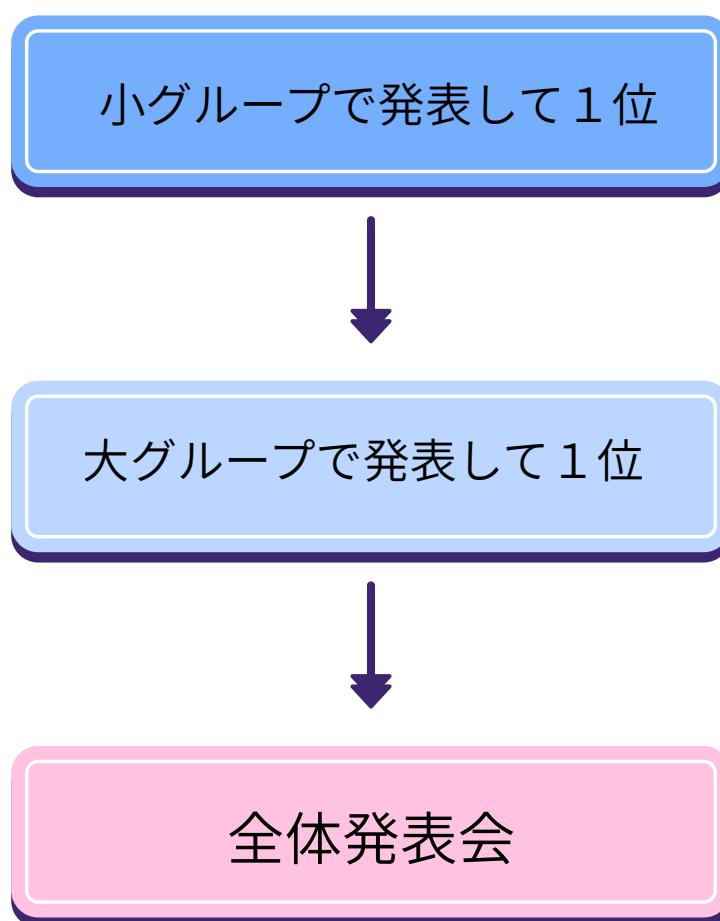
高校生の自分にしかできないテーマを考えてみよう！

Q4：活動は、一人でやるの？グループでやるの？

A4：どちらでも良いです。テーマが同じでも検証する切り口が異なるのであれば別々でやってもよいかも。

Q5：来年1月の発表は、どんな形でやるの？

A5：「googleスライド」で5～10分で発表します。2年生は昨年も作成していますので、1年生は先輩に聞いてみてください。



全体発表会で上位3発表は、2月に福島高校で行われる
探究発表会に東高代表として参加します。

Q6：毎回の探究の50分はどのように過ごすの？

A6：探究の先生からアドバイスが書かれたワークシートをもらって、
それを基に活動する。または直接対話して、アドバイスをもらう。

Q7：それでも分からない

A7：図書室に高橋洋充（たかはし ひろみつ）先生がいるので、
聞いてみるとよい。

Q8：Wifiがつながりにくいのですが

A8：探究の時間は、一斉に多くの生徒がWifiにつなげようとするため
つながりにくいです。現在、学校ではポケットWifiを増やすことを
考えています。

探究の時間は、対話の時間とし、調べ学習は自宅でやることも
おすすめです。

Q9：いつインタビューに行けばいいの？

A9：冬休み中や土日、祝日が考えられますが、年末年始は、相手方も
忙しいし、官公庁や企業も休みなので注意が必要です。

それでは素敵な探究ライフを！

